

第2回“日本の食品” 輸出EXPO出展報告書

平成30年度農林水産物・食品輸出促進対策事業（品目別等輸出促進対策事業）
及び平成29年度品目別輸出促進緊急対策事業（青果物輸出特別支援事業）

日本青果物輸出促進協議会

概要

会期：2018年10月10日（水）～12日（金）

10：00～18：00

（金）のみ17：00終了

会場：幕張メッセ 9～11ホール

来場者数：14、697名

主催：リード エグジビション ジャパン（株）

共催：（独）日本貿易振興機構（JETRO）

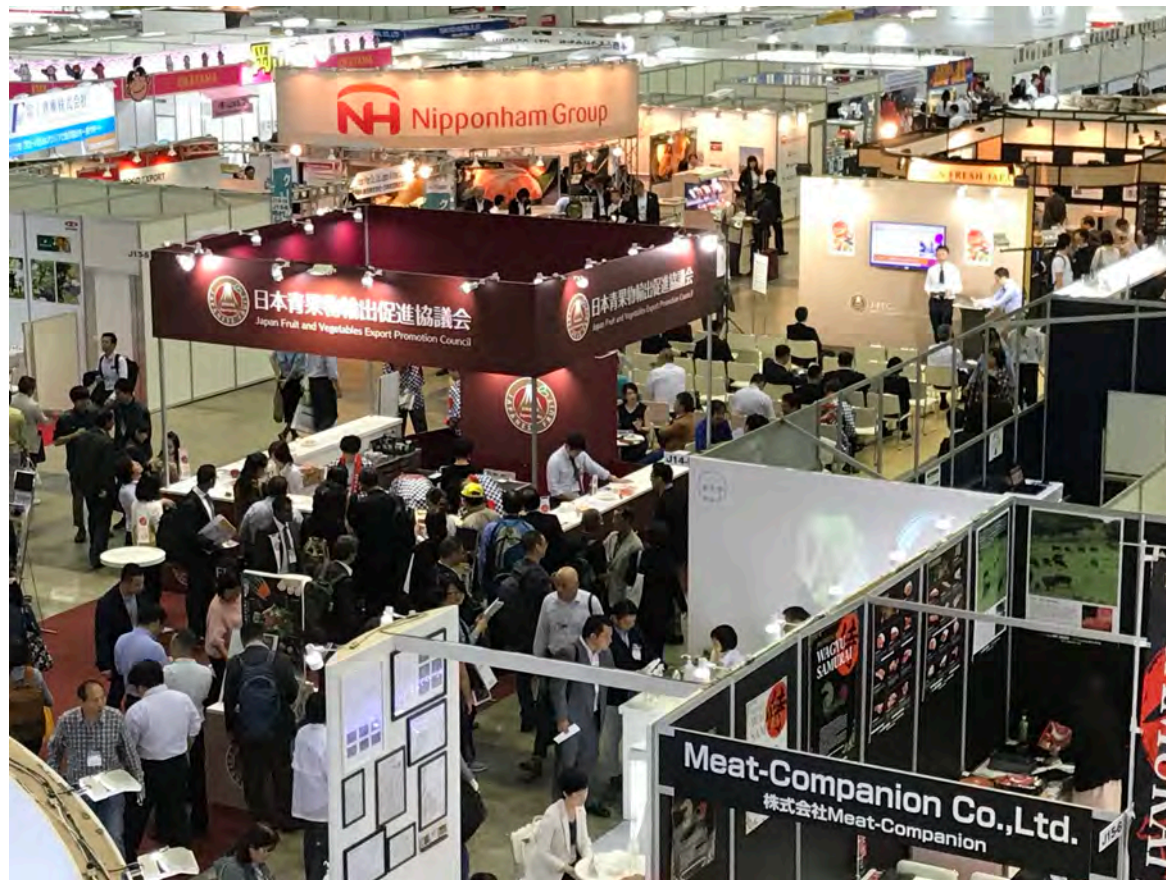
協力：農林水産省

オープニングセレモニー



会場全景

画面中心が日本青果物輸出促進協議会の展示ブース

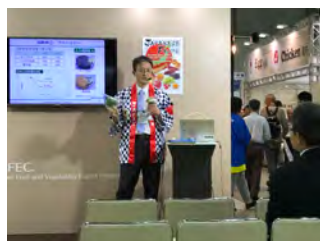
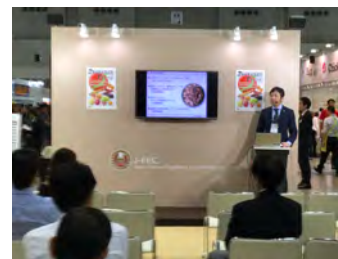


共同出展社一覧

- ▶ ブランドおおいた輸出促進協議会農産部会
- ▶ 大昇株式会社
- ▶ 青果物流通研究会
- ▶ 日本ブドウ産地協議会
- ▶ 全国植物検疫協会
- ▶ 有限会社 松和
- ▶ NAX JAPAN株式会社
- ▶ 住友ベークライト株式会社
- ▶ 株式会社 サンライズ
- ▶ とくしま農林水産物等輸出促進ネットワーク
- ▶ 東京青果株式会社
- ▶ Wismettacフーズ株式会社
- ▶ 株式会社 雪国まいたけ

セミナーの概要

- ▶ セミナー実施：会期中に青果物に関する24回のセミナーを実施（10日9回、11日9回、12日6回、各20分）



展示及び試食の概要



商談実施状況



商談実施の詳細

- ▶ 名刺交換数：462枚
- ▶ 商談件数：109件
- ▶ シンガポール他10か国の輸入卸売業者等とゆず、まいたけ、あまおう等の商談を実施し、2件の新規商談が成立し、継続中7件、中断3件となっている。（30年12月現在）
- ▶ 既存の取引先との商談成立：2件

セミナースケジュール 詳細



第2回日本の食品輸出EXPO

日本青果物輸出促進協議会ブース セミナースケジュール

	10月10日(水)	10月11日(木)	10月12日(金)
10:30 └ 10:50	市場からの輸出 東京青果	日本のみかん栽培について サンライズ	アプリで始めるラクラク貿易 COOLOOP NAXJAPAN
11:00 └ 11:20	徳島県の輸出品目と輸出支援の 取り組み とくしま農林水産物	おんせん県おおいたの味力 ブランド大分	鮮度保持技術MA包装 住友ベークライト
11:30 └ 11:50	雪国まいたけの海外輸出への 取り組み 雪国まいたけ	農産物の輸出知っておきたいこと!! ーわたしたちがお手伝いします!ー 全国植物検疫協会	徳島県の輸出品目と輸出支援の 取り組み とくしま農林水産物

13:00 ┆ 13:20	アジアにおける 小玉りんごブランディング Wismettacフーズ	徳島県の輸出品目と輸出支援の 取り組み とくしま農林水産物	おんせん県おおいたの味力 ブランド大分
13:30 ┆ 10:50	鮮度保持技術MA包装 住友ベークライト	アジアにおける 小玉りんごブランディング Wismettacフーズ	農産物の輸出知っておきたいこと!! ーわたしたちがお手伝いします!ー 全国植物検疫協会
14:00 ┆ 13:20	日本ブドウ産地協議会の海外輸出への 取り組み 日本ブドウ産地協議会	鮮度保持技術MA包装 住友ベークライト	日本ブドウ産地協議会の海外輸出への 取り組み 日本ブドウ産地協議会

15:00 ┆ 15:20	アプリで始めるラクラク貿易 COOLOOP NAXJAPAN	アプリで始めるラクラク貿易 COOLOOP NAXJAPAN
15:30 ┆ 15:50	おんせん県おおいたの味力 ブランド大分	日本のみかん栽培について サンライズ
16:00 ┆ 16:20	日本のみかん栽培について サンライズ	日本ブドウ産地協議会の海外輸出への 取り組み 日本ブドウ産地協議会

展示及び試食青果物の種類及び数量

品目	品種	産地	購入数	
		県	CTNS	KG
ぶどう	シャインマスカット	長野	7	35
ぶどう	クインニーナ	長野	7	35
ぶどう	ピオーネ	岡山	7	35
柿	刀根早生柿	和歌山	4	22.5
柿	太秋柿	福岡	4	13.5
柿	次郎柿	愛知	4	22.5
なし	新高梨	大分	4	20
なし	にっこり梨	栃木	4	10
りんご	早生ふじ	青森	4	20
りんご	トキ	青森	4	20
りんご	秋映	長野	4	20
メロン	クラウンメロン	静岡	4	27
メロン	赤肉メロン	北海道	4	24

展示及び試食青果物の種類及び数量

みかん	肥のさきがけ（極早生）	熊本	4	15
みかん	極早生みかん	福岡	4	5
キャベツ	キャベツ	群馬	1	10
白菜	白菜	茨城	1	12
人参	人参	北海道	1	10
玉ねぎ	玉ねぎ	北海道	1	20
じゃがいも	男爵	北海道	1	10
香酸柑橘	ゆず	高知	1	5
香酸柑橘	すだち	徳島	3	15
香酸柑橘	かぼす	大分	1	5
きのこ	雪国まいたけ	新潟	4	8
甘藷	なると金時	徳島	1	5
甘藷	紅はるか（甘太くん）	大分	1	5

まとめ

- ▶ セミナー会場よりも商談スペースの拡大により商談実績の確保が必要。
- ▶ 試食品については、青果物の種類によりばらつきはあるものの、おおむね過不足なく提供できた。
- ▶ また、青果物のリーフレットは英語及び中国語の併記版を250部用意したが、2日で完全になくなり、関心が高いことがうかがわれた。
- ▶ 商談については、新規顧客の成立はわずかであったが、既存の顧客と商談を進めた結果、2会員で7000万円の商談が成立した。（平成30年12月まで）
- ▶ その他、来年に向けての展望
- ▶ ① セミナーと試食、商談との連携はあまり重要ではないので、事前商談予約の把握及びその対応に注力する。
- ▶ ② 生鮮青果物だけではなく、ジュース、ジャム、コンポート、粉末等の加工品の展示を増やす。（青果物が輸入禁止の場合は加工品をPRし商談につなげる。）
- ▶ ③ ショウジョウバエ対策及び床の付着ごみ対策は、衛生面や会場の清潔感から留意が必要。
- ▶ ④ 来年の開催時期は2019年11月27日（水）～29日（金）なので、青果物の品揃えに留意する必要。